



大阪府立大学社会福祉学部社会問題研究会会則、編集規定、執筆要項

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-03-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/6917

大阪府立大学大学社会福祉学部社会問題研究会会則

(名 称)

第1条 本会は、大阪府立大学社会福祉学部社会問題研究会と称する。

(目 的)

第2条 本会は、社会福祉をはじめとする社会問題の研究および関連する学術分野での研究の促進を目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、次の事業を行う。

1. 機関誌『社会問題研究』の刊行
2. 社会問題に関する研究会および講演会の開催
3. その他本会が適当と認めた事業

(会 員)

第4条 本会は、次の会員をもって組織する。

1. 正 会 員 大阪府立大学社会福祉学部の専任教員および事務長
2. 大学院生会員 大阪府立大学大学院社会福祉学研究科学生
3. 学部学生会員 大阪府立大学社会福祉学部学生
4. 特 別 会 員 大阪府立大学社会福祉学部の名誉教授および本会がとくに推薦するもの
5. 賛 助 会 員 以上のほか入会の申し込みがあり、運営編集委員会
が適当と認めたもの

(役員および評議員会等)

第5条 本会に、次の役員および評議員会をおく。

1. 会 長 評議員の中から互選する。
2. 評議員および評議員会
正会員をもって評議員とし、評議員会を構成する。
3. 運営編集委員会および運営編集委員会
評議員の中から互選された4名および事務長をもって運営編集委員
とし、運営編集委員会を構成する。なお、評議員の中から互選された

委員の任期は2年とし、1年ごとに半数を改選する。

(会費)

第6条 本会の会費は、次のとおりとする。

1. 正会員 年 20,000円
2. 大学院生会員 年 8,000円
3. 学部学生会員 年 5,000円
4. 賛助会員 年 8,000円

(会員の特典)

第7条 本会の会員は、『社会問題研究』の配布をうけるほか、本会の行う事業に参加することができる。

(収支決算の報告)

第8条 本会の収支決算は、毎年評議会に報告するものとする。

(会則の改正)

第9条 本会則の改正は、評議員の議決による。

(事務局)

第10条 本会の事務局は、大阪府立大学社会福祉学部におく。

附則

本会則は、1995年6月22日から施行する。

附則

本会則は、1998年6月11日から施行する。

社会問題研究会役員 (ABC順)

会 長	土 井 洋 一			
評 議 員	土 井 洋 一	藤 井 博 志	藤 井 達 也	
	泉 千 勢	児 島 亜 紀 子	菰 渕 緑	
	黒 田 研 二	松 田 博 幸	望 月 彰	
	中 山 徹	西 田 芳 正	里 見 恵 子	
	里 見 賢 治	関 川 芳 孝	田 垣 正 晋	
	武 田 宏	谷 口 泰 治	山 中 京 子	
	横 田 恵 子	吉 原 雅 昭		
運 営 編 集	泉 千 勢	菰 渕 緑	黒 田 研 二	
委 員	児 島 亜 紀 子	松 田 博 幸		

編 集 規 程

1. 本誌を、大阪府立大学社会問題研究会の機関誌とする。
2. 本誌は、1年1巻とし、2号に分けて発行する。
3. 本誌は、原則として本会会員の研究発表および資料、海外文献の紹介などにあてる。
4. 論説などのテーマは、本会の事業目的に添うものであること。
5. 提出された原稿の採否および修正については、運営編集委員会が決定する。
6. 提出原稿は、所定の執筆要項にしたがうこと。

執 筆 要 項

1. 本誌に発表する論文などは、いずれも未発表のものに限る。
2. 論文などの長さは、原則として1編400字詰め原稿用紙40枚以内とする。
この中には、図・表、注および引用文献が含まれる。
3. 図・表は文中に挿入せず、別の用紙に貼付し、論文原稿には挿入すべき

箇所を指定しておくこと。

4. 注および引用文献は、原則として文中の該当箇所（マス目の右上）に番号を (1)、(2) …と表記しており、論文原稿末にまとめる。
5. 引用文献の記述の形式は次の通りである。

イ. 邦文の場合

- a. 上村太郎「貧困の概念について」『社会問題研究』第6巻第3号 8
－10頁
- b. 上村太郎「家族の病理」, 中井治郎(編)『社会病理学』(社会問題講座)第3巻 有斐閣 1927, 70－75頁

ロ. 欧文の場合

- a. Davis, Kingsley: “The Sociology of Parent-Youth Conflict” *American Journal of Sociology*, Vol. 5, No.4, pp.523-535
- b. Burgess, E. W., “Human Aspects of Social Policy” in P. Townsend (ed), “Old Age in the Modern World”, Free Press, 1962, pp.25-28